

放射線やストレスなどで
傷んだ細胞を修復する
効果があります!!

2022年4月吉日

今年も「姫川薬石」が入荷しています!!
廉価にて販売中です!!

新井先生のブログ「京の風」などで紹介させて頂いている「姫川薬石」が今年も入荷し、廉価にて販売中です。

この姫川薬石は、糸魚川市の親不知海岸などで採取されます。ここは、日本アルプスの最北端で、岩盤が日本海にそのまま入り込む大絶壁を作り出しているところです。ここはヒスイで有名なところですが、ヒスイの鉱床のとなりからは、姫川薬石も採れるのです。この姫川薬石からは、微弱な天然ラジウムが出ています。このラジウムは、いたんだ細胞を修復する効果があると、古くから言い伝えられています。

(注) 姫川薬石は放射線を除去するものではありません。放射線は出来るだけ浴びないようにしてください。

糸魚川から海岸に漂着した姫川薬石には、日本海の荒波で十分に洗われたものもあり、この場合、ラジウムの出方は、さらに、マイルドになります。その石は表面が完全にスベスベで、肌当たると肌がツヤツヤになります。

温泉にも天然ラジウムやラドンがでるところがあり、秋田県の玉川温泉、鳥取県の三朝温泉などには、たくさんの人が病氣療養に訪れます。原発事故のあった福島にある三春温泉もラジウム温泉で有名です。

「311」以来、日本全国に見えないレベルで原発の放射線が飛び、細胞が痛んでいます。これは、細胞を、針やナイフのように傷つけているのです。すこしでも、細胞を修復するために、天然ラジウムを上手に浴びることをお勧めします。

痛んだ細胞の修復には、パワー系でなく、情報系が肝心です。

なるべく、やわらかく微細で、穏やかな波形の周波数を丁寧に、細胞に当てることで、周囲の細胞同士で、情報交換を活発化させ、本来の治癒能力を引き出します。

使い方は、姫川薬石を、「お風呂に入れる」、「体の痛いところ、気になる所にあてる」、「部屋に置いておく」、「持ち歩く」、「ポット、ペットボトルや炊飯器に入れる」などなど様々な使い方が出来ます。

(注) ポット、ペットボトルあるいは炊飯器に入れる場合には念のため煮沸消毒してください。

姫川薬石は、天然のもので、その大きさや形などはまちまちです。使い方に応じて、どのようなものが良いかおすすりめさせていただきますので、ご興味のある方はお気軽にご連絡いただけたらと思います。

ご連絡は →→→ 室伏 昭昌 (株式会社K20)
TEL : 03-6284-4312 携帯 : 090-5804-5078
E-mail : k2o3184murofa@jcom.zaq.ne.jp

